

# 品秀寺だより

## 本堂屋根完成しました



10月9日(土)に本堂屋根瓦工事が完了しました。職人さんが「無事終わりました」と、きれいに掃除をしてあいさつに來られました。



の内1, 227枚が瓦懇志としてお名前が記された瓦によって完成しました。

今回、屋根の軽量化のため三州の段付飛鳥野瓦あすかのかわらによる本葺(ほんぶ)き一体として施工されました。

本堂以外は大和瓦ですが、飛鳥野瓦も「いぶし瓦」といわれるしゅい銀色光沢の瓦で、外観に差異はありません。棟や鬼瓦・軒先の寺紋入りの瓦は他の建造物とのバランスを考え、大和瓦

庫裏、山門、鐘楼、経蔵、手水舎、仮本堂、そして今回、本堂と浜田瓦センターの職人さんが瓦を葺かれました。本堂は約9,000枚、その

に製造を依頼しました。

同じ職人さんによる施工ですので、屋根のたたずまいに統一感があり、品秀寺にマッチした古風な雰囲気となりました。

16日(土)には世話係さんに寄っていただき、ご覧いただきました。今月末には、屋根部分の足場が撤去され、屋根瓦の全貌が見えるようになります。足場の上からの視界は、これ以後になります。

### 大工工事も進んでいます

大工さんの工事も予定通り進んでいます。後堂(本堂の裏)

の工事がほぼ終わりました。同時に下がっていた内陣ないじんの天井に

吊り材を増やして、しっかりと支えられています。

これから外陣の角二箇所に、耐震壁が施工されていきます。

